

令和 3 年 3 月 3 日

『東北地方の性的マイノリティ団体 活動調査報告書』の刊行

本学教育推進機構の特任准教授・前川直哉が、和光大学教授の杉浦郁子（すぎうら いくこ）氏と行った共同研究「東北地方の性的マイノリティ団体活動調査」の報告書が完成しました。報告書には東北地方の性的マイノリティ団体に関わる 23 名(19 団体)の方へのインタビューを収録しており、東北の性的マイノリティ団体に関する本格的な学術調査としては初めてのものとなります。

報告書では、東北 6 県で性的マイノリティの居場所づくりなどの活動をしておられる団体スタッフ 23 名のインタビューを収録しました。A4 版 360 ページにおよぶ初の本格的な調査であり、今後、性的指向や性自認に関わらず、全ての人が自分らしく過ごせる地域づくりのためのヒントが詰まっています。

詳しい分析や考察はこれからですが、インタビュー調査からは下記のようなことが読み取れます。

東日本大震災以前から、東北地方でも複数の性的マイノリティ団体が継続した活動を行っていたが、震災や性的マイノリティへの社会的関心の高まりなどを契機に、新たに活動する団体が増加している。

ジェンダー規範（女らしさ・男らしさ）の押し付けや、「イエ」意識を背景とする結婚プレッシャーなどを理由に、進学・就職などの時期に、他の地域へ流出する性的マイノリティ当事者も多いとみられる。

また、自治体や職場などで性的マイノリティへの理解が進んでいないと思われるケースもあり、当事者の生きづらさに繋がっている。

東北各地の性的マイノリティ団体は、性的マイノリティ当事者のため、地域の事情に合わせた多様かつ柔軟な活動を展開している。



報告書は東北地方の図書館や男女共生センター等に送付するほか、一部は東京大学 REDDY のサイトで読むことができます。

<http://www.reddy.e.u-tokyo.ac.jp/>

（お問合せ先）

教育推進機構 特任准教授 前川 直哉

メール：r873@ipc.fukushima-u.ac.jp

電話：090-1913-2213